

令和3年度版のおもな変更点(指吸なごみEx)

(Ver. 3.2.0.0→Ver. 3.3.0.0)

I 改善項目

月次計算書および試算表から元帳にジャンプ時のメッセージを無くしました。

仕訳入力画面からの「仕訳検索」の機能追加

- ・年度コンボ(デフォルト直近2年(入力年度と前年度)が自動選択される)
- ・「翌1翌2は検索対象外とする」のチェックボックス追加
- ・降順表示ができます。
- ・検索から仕訳を登録した時点で、日付は上書きしなくしました。
(日付を登録していない場合は検索した仕訳の日付がはいります)
- ・摘要入力のサイズを半分に変更しました。
- ・摘要の複数検索はOR検索→AND検索に変更しました。

仕訳リストメニューにて、仕訳の一括編集ができるようになりました。

配賦登録

- ・表示されているデータを [F2インポート][F3エクスポート]できます。
(配賦登録に指定していな科目は、インポートできません。)

固定資産→明細登録→通常

- ・[F11 一括除売却モード]を追加しました。
[F9 西暦和暦変換][F10 除売却日一括登録][F11一括除売却処理]が選択できます。
(期中に一部除売却や資本的支出を行っている資産は処理対象外となります)
- ・固定資産明細一覧画面の検索条件に、「品名1」「摘要」を追加しています。

固定資産→明細登録→通常

- ・[F12資産移管モード]を追加しました。
[F9 西暦和暦変換][F10 移管日一括][F12資産移管処理]が選択できます。
注) 下記の資産は、処理対象外となります。
　　借入金が登録されている。
　　期中に一部除売却や資本的支出を行っている。

決算書

- ・「別紙3⑧の作成方法」を選択できるようになりました。

注) 固定資産メニューの登録を選択する場合

基本情報登録の会計期間と固定資産の年度入力期間が同じである。

II 修正内容

不具合修正の対応

仕訳入力から「F4仕訳検索」の画面になります。



- 年度を固定することで、検索データ絞り込みます。
- 「翌1翌2は検索対象外とする」で同じ重複し表示されません。

仕訳リスト

「編集」列に変更する仕訳にチェックします。「F4一括編集」を選択します。

変更項目を選択し、「変更前」「変更後」を選択します。



[F4 チェック]→[F5 変更実行]の流れになります。

配賦登録

固定資産明細一覧

「F11—括除売却モード」を選択します。

除売却が可能な資産を表示します。

除売却する資産について

「除却」「売却」のどちらかを選択。除売却日を指定します。



「F11—括除売却処理」を実行します。

固定資産→明細登録→通常

「F12資産移管モード」を選択します。

移管できる資産を表示します。

移管の資産について

「移管日」と「移管先のサービス区分」を指定します。



「F12—資産移管処理」を実行します。

決算書

決算書計算条件

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 電子開示システム F6 F7 OK F8 キャンセル

計算条件

結合コード計を出力する

資金収支計算書等/事業活動計算書等
明細の有無: 有 無

ページ番号を出力する

省略可能な資金収支・事業活動明細書を省略する

別紙3⑧の作成方法
固定資産メニューの登録データ

決算期間

令和 2/04/01 ~ 令和 3/03/31

印刷帳票

すべて印刷

印刷指定 ※表紙は必ず印刷されます

計算書類

資金収支計算書 事業活動計算書 貸借対照表

資金収支内訳表 事業活動内訳表 貸借対照表内訳表

資金収支内訳表(事業区分) 事業活動内訳表(事業区分) 貸借対照表内訳表(事業区分)

資金収支計算書(拠点区分) 事業活動計算書(拠点区分) 貸借対照表(拠点区分)

計算書類に対する注記(拠点区分用)

計算書類に対する注記(法人全体用)

附属明細書

別紙3 別紙4

資金収支明細書(拠点区分) 事業活動明細書(拠点区分)

財産目録

登記書類

委任状・申請書・財産目録

OK キャンセル